

平成30年第3回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成30年3月16日 午前10時00分
- 2 閉会 平成30年3月16日 午前10時57分
- 3 会議に出席した委員
花井 隆教育長、山本明子教育長職務代理者、土井真紀江委員
金田真也委員、太田孝雄委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 大根義久
教育総務課長 伊藤英洋
学校教育課長 杉田哲利
生涯学習課長 富田 成
スポーツ課長 本多剛晴
博物館長 鈴木利昌
文化財課長 増山禎之
中央図書館長 豊田高広
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則
教育総務課主任 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第3回定例会議事日程

日 時 平成30年3月16日（金）
午前10時00分
場 所 南庁舎4階 政策会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議題

- (1) 田原市教育委員会表彰規則の一部を改正する規則について
- (2) 田原市文化財保護審議会委員の任命について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 田原市議会第1回定例会一般質問について
- (3) 小中学校への寄附について

5 その他

開 会 午前10時00分

教育長

本日は、何かとご多用のところご出席くださりまして、ありがとうございます。

ただいまの出席者は5名であります。定足数に達していますので、平成30年田原市教育委員会第3回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者としては、土井委員と金田委員のご兩名を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

教育長

それでは、議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきます。

2月21日、前回の第2回の定例会。その夜には、三師会の定期総会があり、副市長と私と市役所職員も出席いたしました。

2月27日から田原市議会の本会議が始まりまして、この日、教育長の再任を議会でお認めいただきました。

高校の卒業式が3月1日、中学校が3月6日という形でありまして、次に小学校の卒業式があります。

それで、卒業式のときに教育委員会の告辞をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

3月7日、文教厚生員会では、いじめ問題の関係と、赤羽根文化会館の設管条例、それから英語教育の移行期対応ということで説明させていただきました。

3月9日、社会教育審議会。生涯学習の進捗状況、来年度予算の概要と旧野田中学校の跡地利用について、その他を話題として取り上げました。

3月10日、少年少女発明クラブ閉校式。子どもたちは、楽しんで発明クラブに参加しておりまして、今年は36名、来年は四十数名ということで、人気も上がっているということで、小学五、六年生なのですが、指導員の先生が不足しているという状況です。

3月11日、消防団観閲式

3月12日月曜日から予算決算委員会が4日間ありました。特に平成30年度新予算の審議でした。

14日、東三委員長・教育長会。私は、予算決算の関係で出られませんでしたので、山本委員にご参加いただき、ありがとうございます。

本日、教職員の内示を、先ほど行ってまいりました。それで、本日定例会ということでもあります。

3月20日が小学校卒業式、市議会が22日に終了します。

3月23日、本年度の小中学校の修了式があります。

3月25日、田原ライオンズクラブからの寄附で小学校の英語教育に使うタブレットを買わせていただいて、現在使っているわけですが、その関係で感謝状授与ということで出かけていきます。

3月26日に、学校未来創造計画検討委員会。3月27日に、伊良湖岬中学校統合準備委員会等もあって、3月30日が本年度終了で、辞令交付式があります。それと、臨時会もあるということです。

4月の予定については大体例年どおりかなということで、4月6日に定例会が予定されているということでもあります。

以上で私からの報告とします。何かご質問等がありましたら、願います。

では、また委員の報告等でよろしくお願ひしたいと思います。

教育長

では、教育長報告事項を終わり、これより議題に移ります。

初めに、議案第10号「田原市教育委員会表彰規則の一部を改正する規則について」を議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

教育総務課長

教育総務課から、議案第10号につきましてご説明いたします。

議案第10号田原市教育委員会表彰規則の一部を改正する規則について、田原市教育委員会表彰規則の一部を改正する規則を別紙のとおり定めるものとする、本日提出の教育長名です。

改正の内容につきましては、選考委員会の委員の代表者を教育長とするもの、あわせまして、委員の見直しを行うもの、また選考委員会の委嘱または任命規定を削るといったものでございます。

新旧対照表をつけてございますので、ご覧ください。左側が現行で、右側が改正案となります。現行では、第1条第1項で、「選考委員会は、委員10人以内をもって構成する」とございます。また、第2項で、「選考委員会の委員長及び委員は、別表に掲げる者とし、教育長が委嘱し、又は任命する」といったところを、改正案の第11条で、「選考委員会は委員長及び委員をもって構成し、それぞれ別表に掲げる者とする」という条文の改正となります。

また、別表につきましては、委員長の欄の「教育委員会委員の代表者」というところを、「教育委員会教育長」に、また、委員の欄では、「学識経験者」というところを「教育委員会委員の代表者」に、「教育部中央図書館長」の下に「田原市博物館長」と追加させていただくものです。

なお、規則の改正につきましては、平成30年3月16日から施行させていただきたいというものでございます。

以降、別紙をつけてございますが、規則につきましては、赤字で表記したところが今回改正させていただく箇所、推薦書及び表彰者名簿につきましては、様式の改正箇所はございません。

教育長
山本委員
教育長
山本委員
教育総務課長

以上、説明とさせていただきます。よろしくお願ひします。
事務局の説明が終わりました。ご質問等はござひますか。
すみません。

はい、どうぞ。

学識経験者というのは、今まで民生委員の方とかでしたか。

この表彰選考委員会委員のこれまでの学識経験者というのは、教育委員の中の、昨年で言うと横田委員とか、実際には教育委員で構成しておりました。そこを、教育委員会の委員の代表者という表記にさせていただきます。

山本委員
教育長

はい、わかりました。

そのほかにいかがでしょうか。

では、お諮りいたします。議案第10号「田原市教育委員会表彰規則の一部を改正する規則について」、原案どおり可決することにご異議ござひませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議ないようですので、議案第10号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第11号「田原市文化財保護審議会委員の任命について」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

文化財課長

文化財課からお願いいたします。

議案第11号田原市文化財保護審議会委員の任命について、お願いいたします。

田原市文化財保護審議会委員を別紙のとおり任命するものとするということで、次のページをお開きいただきたいと思います。

候補者の方は小林一弘さん。分野については、地理学、歴史学でござひます。再任になっております。

現在、文化財保護審議会委員は、条例上では10名以内ということになっておりますが、今回の候補者を含めて9名となっております。

小林さんは、もともとは小中学校の教員をやられておられて、主に豊橋で勤務をされておりました。そして、退職後、豊橋市の二川宿本陣の館長をやられて、その後、文化財保護審議会に入っております。平成26年から就任しております。知識、人格ともにすぐれた方ですので、適任の先生かと思ひます。

任期につきましては、平成30年4月1日から平成32年3月31日となっております。よろしくお願ひいたします。

教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問等がござひましたら、お願ひいたします。

では、ご質問もないようですので、お諮りいたします。議案第「11号田原市文化財保護審議会委員の任命について」、原案どおり可決することにご異議ござひませんか。

(異議なし)

教育長 ご異議ないようですので、議案第11号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長 続いて、報告事項に移りたいと思います。

 では、教育委員の皆様方から、連絡報告事項を順次お願いいたします。

山本委員 初めに、山本委員から。

 私は、3月6日の中学校の卒業式、泉中学校に行かせていただきました。卒業生は38名だったと思いますが、3名ほど名前だけ呼ばれたかたちでした。蛍の光、仰げば尊し、本当に伝統的な歌が中心で、子どもたちもいい意味ですごく緊張していて、校長先生も思い出深い、一生残るような卒業式にしたいと言っていました。すごくいい卒業式で、緊張というのがすごく子どもたちのいい経験になったような感じがしました。

 それから、3月14日、東三河県庁での東三委員長・教育長会に出席しました。このときのいろいろな報告事項が、前回も出ているので、少しわかったかなという感じで、いろいろと私からも質問させていただきました。

 まず所長さんの話の中で、東三河で本年度不祥事が5件あったということでした。ニュースなどで出たものもあるし、出ていないものもあるかと思いますが、これは引き締めないといけないと感じました。

 キャリア教育というのは、多分教育委員の方々も聞いてみえる、前回のときに話が少しありましたか。キャリア教育とか実業高校で先生が学ぶという。そういったキャリア教育というのは、中学生がいろいろ仕事をしている方の講演を聞くというので、東三河全部の何人かの中学生が集まって講演会を聞いたり、いろいろとディスカッションに加わったりするのですけれども、それが本当に設楽から4時間も5時間もかけて来て、今年度はライフポートとよはしでやったのですけれども、すごく遠いということで、来年度は愛知大学で開催すると。やはり、いろいろ意見が反映されるというのは、どんどん変えていかなくていけないと思いますが、これでどのように子どもたちが感じたか、その辺も本当は知りたかったのですけれども、また聞きたいと思います。

 あと、会の終わった後の情報交換で豊橋の教育長が、給食の牛乳の飲み残しがあるという、それをどのように処理しているかということをお皆さんに聞かれたのですけれども、田原はどのようにしているのか、わからなくて。飲み残しがあること自体、聞いたことがなくて。平均的には、何十本もの牛乳を捨てているそうなのです。それはどのようにしているのかとか、親からもらった給食費で牛乳を捨てること

をどのように考えるかと投げられたのですけれども、牛乳の問題は、また出てくるような気がします。

それから、部活動の問題で、名古屋市が小学校の部活動を廃止するというような発表があつて、豊橋市は見直しを始めていくということです。私も田原の状況はわからないのですけれども、そこはまた教育長に伺いながら、田原市の状況を教えていただきたいなと思います。

それから、台風で、6時に警報が出たら学校はお休みするというのが、豊橋は決まったのだけれども、田原も一応6時になったというように思いますので、この2市だけは、このようになったというように聞きました。

それから、所長の挨拶の中で、肢体不自由な学生が学校にいる場合、看護師の補助を検討してほしいというようなことが出ていました。

それから、学校経営案の8番というところに、コミュニティ・スクールの記載を入れてはどうかという意見があつたというように所長がおっしゃっていました。これも、わからないことだったので、また教えていただきたいと思います。

それから、豊橋では、豊橋市民病院と何中学校でしたっけ。

牟呂中学校ですか。

牟呂中学校ですか。市民病院の中に。

院内学級。

院内学級をやっているまして、それを継続していくということで、それも全市、三河の、例えば田原や豊川の子もそれを使っていけるということで、それを継続してほしいというような要望があつて。

今回はとても盛りだくさんだったので、結構興味深く聞いていただいて、いろいろと牛乳の質問などもさせていただきました。

以上です。

では、土井委員にいく前に、今、いくつかあつた点で、牛乳の飲み残しということで、豊橋は、実は来年度から残った牛乳を業者が集めて、廃棄する費用を予算にあげたと。豊川も、そうかな。

豊川も、そうです。

田原は。

5市で12月から1月にかけて状況調査がありまして、田原については、飲み残しは完全にはないわけではないのですが、学校で処理ができるということで、あつても二、三本ということです。ないところはほとんどゼロということですので、そういった業者に頼んで廃棄することはしないということで、給食センターに飲み残しが戻ってくることもないということで回答してあります。豊橋や豊川は、先ほど山本委員が言われたとおり、何十本という件数があるので。ただ、年間委託が確か四、五百万円というようなお金で、たとえ数本でも、年間の委託になると、それだけで数百万円かかります。田原は、現状ゼロではな

教育長
山本委員
教育長
山本委員

教育長

教育総務課長
教育長
教育総務課長

教育長

いですがけれども、委託は使わない、学校で処理できるということです。
それから、部活動で、名古屋市の小学校は3年後にはなくすということ
ことでやっていますけれども、田原は学校教育課長。

学校教育課長

小学校は、活動時間等の見直しをしていきますが、非常に大事な部
分だと思って、今のところ続けるということでは思っております。

教育長

名古屋も、やはり賛否ある部分で。名古屋でいくと、外部機関とい
うのか、スイミングやおけいこごとをやる場所が結構さまざまにある
のですけれども、田原の場合、距離感もあって、そういう点では地
域の実情があるので、また問題になっていけばですけども、今、先
生たちの頑張り、もちろん子どもたちも含めて。小学校では、問題
としては小さい学校が音楽部と運動部を兼ねるので、その辺が結構大
変で、ある意味、両方やれるというのもメリットですが。いろいろな
意見も各場面で受けていますので、問題点については少しずつみんな
で考えていこうというようになっております。ひとまずは、まだ名古
屋市のようなことではないということです。

学校教育課長

それから、暴風警報が出たときのことも学校教育課長。
田原市も4月から、暴風、暴風雪警報が6時の時点で出ている場合
は、小中学校は休校ということで統一をしていく、実施に移していく
ということをお願いしてあります。

教育長

ということで、午前6時の時点で暴風警報が出ていた場合は臨時休
校ということになりますので、特に西三河の教育長たちも、保護者の
関係で、子どもは置いていくけれども、警報が解除されると子どもた
ちを行かせなければいけないし、給食があるのか、ないのかななどを
含めていろいろありますので。6時の時点であった場合は学校もないし、
もちろん給食もないということで、周知していきたいということです。
そのほうが土井委員どうでしょうか。

土井委員

田原は割と早目に、前日にストップと連絡をいただけるので、親と
しても弁当をつくるつもりで用意したり、休みになってしまったら、
そのまま家で食べればいいし、休みでなければ学校へ持っていく。早
めに対処してくれているので、ありがたいといえありがたいです。

教育長

特に豊橋と連携しながらやっているところです。
いろいろな子どもの通学も含めて、多方面から考えたときに、午前
6時の時点での警報で対応していこうということで話題になったと。
それから、看護師の補助というのは。

山本委員

肢体不自由児を見ている学校があるのですよね。

教育長

なかったかな。とにかく特別支援学級で先生が見ているという。

山本委員

その補助を検討してくれというような要望があるということだと思
うのですけれども。

教育長

関連すると、田原市としては特別支援員。

学校教育課長

看護師が必要だということでは今のところないわけですけども、

特別支援教室で特別支援特別支援員というものを、去年3名ついていたのですが、とても子どもたちも先生方も助かっているということで、来年度は5名に増やしてあたるように計画をしています。

教育長 各学校には教育支援員が見えるのですがけれども、支援員は時給1,000円ですけれども、特別支援員は、

学校教育課長 1,500円です。

教育長 1,500円ということで、いろいろな仕事が大変ということで、500円ほど時給を上げさせてもらっていますので、そのように対応しているということです。

学校教育課長 最後に、経営案のコミュニティ・スクールの記載については、福江中学校が平成31年からコミュニティ・スクールを目指して、その準備期間に入っております。ですから、それを、全ての学校という市もありますし、田原は福江中学校でまずやっていくということで進めています。

山本委員 これは、できたら入れたほうがいいんじゃないですかという豊橋の教育長の提言のような感じだったのです。入れたかったら入れてもいいですよというような。

教育長 豊橋は、コミュニティ・スクールがユネスコスクール。いろいろなことで新しい学校の形態について、提案に載せていったらどうかということの提案だと思いますので、お願いします。

土井委員 それでは、土井委員、お待たせしました。お願いします。

私は3月6日の中学校の卒業式に、福江中学校に行かせていただいたのですがけれども、今年は全員出席できたようで、実はこの年の子どもたちは不登校の子も何人かいたと言われたのですがけれども、卒業式は無事に全員参加できたということで、すごくいい卒業式だったと思いました。卒業生の子たちはもちろんですが、在校生の子たちがすごく一生懸命声を上げて歌を歌っていたり、そういう子どもたちの一致団結とか、そういうものが見られて、すごくよかったと思いました。

以上です。

教育長 金田委員、お願いします。

金田委員 僕も3月6日、東部中学校の卒業式に参加させていただきました。

それで、自分の子どもも卒業して、子どもの話になってしまうのですがけれども、自分がPTAや教育委員をやっていたおかげで、欲を言えば、勉強ができたり、忘れ物などもせずに学校へ行ってきたりしてほしいという気持ちもあったのですがけれども、学校に通っているだけでありがたいと思って、おおらかに見守ることができてよかったと思いました。

以上です。

教育長 東部中学校では議員の方たちも参加して、校長先生の式辞も非常によかったと。

金田委員

そうです。校長先生の式辞についてもよかったですし、海外学習の文章も、引き込まれる内容でよかったのかなど。

教育長

海外派遣。

金田委員

はい。あれで校長先生の文章を読んで、そういう才能があるのかなと思って感心した記憶があります。

教育長

それから、金田委員には市議会の本会議も傍聴していただきまして、ありがとうございました。

金田委員

自分自身、発言するのが苦手なので、議員さん方がどういうことを言っているのかとか、そういうことを勉強がてらみに行ったのです。

そういった感じで、自分の参考になればと思って参加させていただきました。

教育長

ありがとうございました。

もしよろしかったら傍聴していただいて。

それでは、太田委員、お願いします。

太田委員

私は、中学校の卒業式は伊良湖岬中学校へ行ってまいりました。

卒業生の39名全員が式に参加をして卒業式をおくれたということは、不登校のある学校が多いと思うのですが、そういったところは卒業式が終わってから、午後であったり、あるいは卒業式はみんなと一緒に座らずに、放送室とか、そういうところで参加するという形もあるのですが、伊良湖岬中学校の場合は全員が式場で卒業証書を授与されていたということは大変すばらしいと思いました。式全体の厳粛な雰囲気、緊張感もあり、ああいった卒業式が、伝統的なものですけれども、とてもよかったと思います。

私は初めて告辞をいただいて、1週間くらい前に送っていただき、3分くらいでコンパクトにまとめられていて大変よかったというように思いました。

式に臨むに当たって一つ気がかりだったのは、やはり今の状況の中で、子どもたちとのかかわりを持たせるために、将棋の藤井6段や卓球の張本選手のことが載ってきているのですが、それが校長先生の式辞とかぶらなければいいなというように思って冷や冷やしていたのですが、校長先生は平昌オリンピックのカーリングの中の、目標を持つとか、チームワークとか、そういったところをお話しされていました。もう一つは、ふるさと愛というようなものも、オリンピックを題材にして話をされていたので、それもよかったと思いました。

告辞については、教育委員会の指導主事が事前に各学校の校長先生に告辞を見ていただき、内容がかぶらないようにしていただいたということで、そういった努力もあった告辞だったかなというように思って、私としてもとても読みやすくよかったというように思いました。

それから、別件で、2月25日にあつみロビーコンサートに、うちの職場の方が担当しているということで、誘っていただいていつてきま

した。その中で私が感動したことは、渥美文化会館でやっていたのですけれども、200人くらい、本当に老若男女、いろいろな方が見えて、そこで、地元で音楽をやっているアカペラの奏DAYSという、この中には中部小学校の先生も見えるのですが、その方とか、渥美のLast lotというバンドの方々が演奏されました。本当に地域を盛り上げようというような、そういう若者たちがあのように一生懸命やっているということを、誘われていった会でしたけれども、大変いいものを見させていただいたというように思いました。

Last lotについては、福江中学校も合唱コンクールなどで、福江中学校出身の子たちですので、そこで演奏したということも聞きまして、子どもたちにとっても、ああいった地元の、少し上の世代の方々が一生懸命やっているのを見たり、聞いたりすることはいいことではないかというように思いました。

以上です。

教育長

私も、ロビーコンサートの前に地震のセミナーが文化ホールであったものですから、そちらを少しのぞきながらロビーコンサートにいつてきました。

とにかく年代も上から下までの方がみえており、Last lotも非常にしっかり演奏して。またどこかでやるけれども、もっと出してやってもいいですよ。遠慮しないで。

太田委員
教育長

話も上手ですし、惹きつける力がすごいですね。

ボーカルをやっている子は、私が中学校のときに教えていたのですけれども、非常におとなしい。ああいう輝く場面があってよかったなということで。普段はうどんをつくる仕事なのですけれども、そういう対照的な部分があって。

卒業式については、私は田原中学校へ行って、父兄も含めると900人くらいの中で、自分も校長をやっていたときに経験があったのですけれども、そういう中で1人、式に出られなかったのかなと思います。

全体としては、少しだけ泉中学校の3人というのが苦になるところで、小学校のときの人間関係もつながって、中学校でそういう形になっているということ。小、中、そのまま持ち上がる学校というのは、そういうことが起きてくると。泉も野田も過去には2クラスずつ小学校であったのですが、小学校で1クラス、中学校で1クラスになると、人間関係が1回崩れてしまうと、なかなか修復は難しいということで、今度の統廃合、一応岬も2クラスくらいですね。ぎりぎりの2クラス、あるいは1クラスになると思います。そういうところも解消していくという部分もありますので、今、すすめていってもその辺はいいかなということを感じております。

続きまして、田原市議会第1回定例会一般質問について、事務局からお願いいたします。

それでは、私からご説明させていただきます。

お手元に一般質問一覧表がつけてございます。

2月27日から3月22日まで第1回定例会が行われておりますけれども、2月28日と3月2日の2日間が代表質問。これは当初予算の、3月議会は市長の施政方針がありますので、それに対するご質問というような形で、それぞれの会派ごとに代表質問が出ております。

それから、個人質問を7名の方からいただいております。

代表質問の仲谷議員からは、大、小項目としては予算編成ということでございますが、この中に、学校全体配置計画の見直しについて、多忙化解消について、英語教育の教科化に向けて、プログラミング教育という4点、教育に関するご質問をいただいております。代表質問には、教育長から答弁をさせていただきます。

また、めくっていただきますと、赤尾議員、市民クラブからは、やはり教員の多忙化解消ということでございます。それから、魅力ある学校づくりの一環としての教育予算・学校配当予算の拡充と学校の予算裁量権についてということでございます。

お二方とも多忙化解消ということでございますが、大幅に減少してきていますというお答え。一つの要因としては、部活動の朝練の廃止とか、あるいは非常勤講師をつけたり、校務支援システムもしかりでありますけれども、そうしたことによって多忙化解消につながっているということ。

それから、予算の裁量権につきましては、予算の編成方法としては、現行どおりということではありますが、引き続き検討してまいりますということで、これも教育長からお答えをさせていただきます。

1枚はねていただきますと、辻議員から個人質問ということで、大項目としては、学校における働き方改革と教育環境の充実についてということで、チーム学校としての地域人材の活用についてという内容で、取り組み状況について質問をいただいております。また、いじめ不登校の未然防止、早期対応についてというご質問。裏面をご覧くださいと、やはり学校における働き方改革の方向性についてというご質問でございました。

それから、共産党の河邊議員からは、田原市の素晴らしい学校づくりについて、少人数学級の導入の考え方はということで、昨年度もご質問をいただきましたけれども、どうなのかということでご質問をいただきました。絡めて、教員の多忙化解消ということで、部活動指導のご質問もございました。

以上、4名の方からのご質問であります。通して見ますと、教員の多忙化解消ということが一番の課題といたしますか、皆さんの問題意識としてあり、教員の多忙化解消も当然ありますけれども、解消することによって子どもたちと先生方が向き合う時間をいかにつくって

くのかということが目的であったり、狙いということでございますので、そうした議論。その手法として、部活動であったり、あるいは河邊議員のような少人数学級の導入であるとか、そういったご質問であったというような感じがいたしております。次年度以降も引き続きということで、国からも、この3月には部活動の関係のガイドラインも出てきますので、それを受けて、今後の部活動の方針をつくりなさいという国の指示がなされておりますので、来年度はそういった方針を掲げながら引き続き改善に向けていくという状況でございます。

以上、簡単でございますが、一般質問の内容とさせていただきたいと思っております。

教育長

今、事務局から第1回定例会一般質問についての報告がありましたけれども、どうでしょうか。質問等はございますか。

部活動について、先生たちが非常に頑張っているということ、議員さんたちもご理解していただいている中で、今後もその辺を考えてほしいということと、それから少人数学級については、部長が答えてくれたのですけれども、学校教育課長、やっている中で、小学校は比較的、30人以下学級に。

学校教育課長

35人学級といいますけれども、田原市内は、ほぼ30人以下、30人台の学級が多いので、そのように30人となっても少人数学級になっている部分が多いので、そこを生かしてということでお答えをさせていただきました。

教育長

例えば3年生で36人というようなところも、校長の裁量によっては18人ずつに分けて2クラス展開をするというような工夫もしておりますので。

学校教育課長

40人なり35人を超えてしまっているというようなところでも、県から少人数指導の加配というのが、毎年何人かありまして、これが減ってきているのですけれども、その制度を使ってクラスを二つに分けて少人数にできるというようなことを、市内の学校でもいくつかは使って対応しています。

教育長

少しつけ加えさせていただきました。

部長、つけ足しはありますか。

教育部長

ございませんが、在校時間自体も激減しておりますので、引き続き対応していくのかなと。

教育長

在校時間については、私も三河の教育長会などでも言うのですけれども、田原が非常に進んでいるかなと。西三河はあまり変わっていないかなと、そういう感じです。

よろしいでしょうか。

では、次に、小中学校の寄附についての報告をお願いいたします。

教育総務課長

教育総務課からご報告いたします。

平成29年度教育関係寄附一覧表をご覧ください。

今年度、ご覧のとおり10件の寄附が現在までにございます。その10件目ですが、先月の2月23日に、愛知みなみ農業協同組合から市内の小中学校に対しまして、教育環境の充実のためということで書籍を寄附いただきました。今、教育長の前に1冊ずつございますが、「渥美町のむかし探訪」、それから「渥美町の民俗探訪」ということで、今回つくって寄附ということではなくて、過去に農協がつくったものがありまして、それを各学校にも活用してほしいということで寄附をいただいたものです。50冊ずつございますので全校に、生徒数、児童数に合わせて、振り分けをさせていただきます、実際49セットが小中学校へ、そして教育長に1セットという形で全て配付済みでございますので、よろしく願いいたします。

説明は以上です。

教育長

図書館や博物館にもありますか。小中学校へと言っていたものですか、学校へ配ってしまったのですけれども。

中央図書館長

あります。

博物館長

あります。

教育長

結構です。一応、教育長室に1冊ずつ置いておこうかなと思います。

教育長

それでは、続きまして、その他報告事項はありますでしょうか。

教育総務課長

今後の日程につきましては、また会が終わりましたらお話しさせていただきます。

委員のお手元に1冊、「たはらごよみ」という、広報秘書課が作成した冊子を、田原をPRするというご提供させていただきます。これは、広報秘書課の職員だけではなくて、市民の方、市外の方から投稿をしていただいたものを今回選らんで、こういった形で本にしてあります。田原市にはこういうところがあるんだよと市外に発信するためのフォトブックということでございますので、また一度見ていただいて、ぜひ活用していただけたらと思います。今、在庫がないようなのですが、また委員会とか、いろいろな会合で、もし興味がありましたらお声かけいただければ、数がありましたらご提供できるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

教育長

これは結構好評で、コンビニにも置いたのだけ。

教育総務課長

はい。無料だそうですので。

教育長

特に28ページのサーフィン。実は波がないと、このようなことはできないですけれども、すごいショットかなと思って。実際こういう姿がワールドサーフィンゲームスで出るといいかなと思うのですけれども、いい波があつてこそできる場所ですので、ぜひそういうタイミングでいい波が来るといいかなと。

では、そのほか。

教育総務課長

もう1点、すみません。

次第にも書いてございますが、次回の教育委員会の日程が、第1回臨時会という形で3月30日金曜日になります。午前9時30分から、南庁舎6階で行いますので、よろしくお願いいたします。

この日は、その後、教育委員会表彰を11時から行います。教職員退職者辞令交付などもありますので時間に押されますが、よろしくお願いいたします。

年度を越えますと、4月2日に教育委員会事務局職員辞令交付式等がございます。第4回定例会は4月6日を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

教育長

年度末と年度初めのところの日程をご確認いただけたらというように思います。

金田委員

そのほか、各課でこれはということがあったら、お願いします。

教育長

すみません。言い忘れたのですけれども。

金田委員

はい、どうぞ。

事務局の方をお願いしてあるのですけれども、3月26日の学校未来創造計画検討委員会と27日の伊良湖岬中学校統合準備委員会の出席を、書面でみてもわからないので聞かせてもらおうかと思ってお願いしてありますので、よろしくお願いいたします。

教育長

金田委員の資料のご用意をお願いします。

では、全体でこれはということがありましたら。

ないようですので、委員の皆さん、ありがとうございました。

以上で、本日の議事は全て終了しました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第3回定例会を閉会とさせていただきます。

閉 会 午前10時57分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員